

# 2019年度第1回CPD協議会公開シンポジウム

## ～ 科学技術立国を支える人材育成を考える ～

日 時：2019年8月29日(木) 14:00～16:45

場 所：東京大学 山上会館 2階大会議室 (文京区本郷 7-3-1)

マップ [https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_00\\_02\\_j.html](https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html)

主 催：公益社団法人 日本工学会 CPD 協議会

参加料：無料、但し資料代 2,000 円

20世紀後半、工学・技術を牽引力として高いレベルを謳歌・維持した我が国の産業競争力は、時代が平成に移るに合わせたかのように停滞の時代を迎えました。この行き詰まり状況を打開すべく打ち出した「科学技術立国」戦略(1995年科学技術基本法、翌年より5年ごとの科学技術基本計画)も既に4半世紀を経過して今は第5期の終盤にあります。新たな令和の時代に入ったこの時期において、進めて来た科学技術立国施策の状況を振り返りながら、改めて「科学技術立国を支える人材育成」のあるべき姿について議論を深めるべく本シンポジウムを企画しました。

司会 石原 直 (CPD 協議会 副会長)

プログラム (敬称略)	
14:00~14:05	開会のあいさつ 日本工学会副会長 小松 利光
14:05~15:05	特別講演「科学とイノベーションの同時危機のメカニズム」 — 日本沈没を救う方法はあるか？人材育成の観点から — 京都大学 教授 理学博士 山口 栄一
15:05~15:25	空気調和・衛生工学会 CPD の概要と歩み 空気調和・衛生工学会 理事 (教育普及担当) 田之頭 健一
15:25~15:40	休憩
15:40~16:00	地盤品質判定士の現状ならびにCPD活用状況 地盤工学会 前地盤品質判定士担当理事, 地盤品質判定士協議会事務局長 小田部 雄二
16:00~16:20	日本原子力学会の教育への取り組み 日本原子力学会 教育委員会 技術者教育小委員会 委員長 芳中 一行
16:20~16:40	PC工学会における教育事業の取り組み プレストレストコンクリート工学会 石川 善信
16:40~16:45	閉会のあいさつ CPD 協議会 副会長 高木 真人

\*プログラムは、都合により変更となる場合があります。

終了後：交流会を 17:00 から同会館地下 1 階で行います。(参加費：5,000 円)

お申し込みは日本工学会ホームページから WEB 申込をお願いいたします。

お申込み <http://www.jfes.or.jp/>

公益社団法人日本工学会 CPD 協議会 Tel:03-6265-0672 E-mail: [eng@jfes.or.jp](mailto:eng@jfes.or.jp)

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

## 特別講演ご案内

**特別講演 「科学とイノベーションの同時危機のメカニズム」**  
— 日本沈没を救う方法はあるか？人材育成の観点から —  
京都大学・教授・理学博士 山口栄一氏

### 講演要旨

20世紀後期に「科学技術立国」として世界を牽引した日本の科学とハイテク産業は、21世紀に入って突然凋落を始めた。経済の停滞にとどまらず、原発事故のような社会への大打撃を招きかねないイノベーションの喪失。いったい何が起きたのか。その原因は企業の基礎研究軽視のみならず、科学技術イノベーション政策の失敗にあったことを、ベンチャー支援策に成功した米国との比較から解明する。ついで、科学の発見からイノベーションが生まれる原理を明らかにし、日本の科学とイノベーション復興に向けた具体的な処方箋を示す。さらに、イノベーション・ソムリエ(科学行政官等)の不在とイノベーター(ベンチャー起業家)の欠如を論じ、人材育成の観点からイノベーション生態系をどのように再生させるかを提示する。

### 講師略歴

1977年 東京大学理学部物理学科卒業

1979年 同大学院理学系研究科物理学専攻修士修了

1984年 理学博士(東京大学)。

1979年 NTT 基礎研究所 主任/主幹研究員。

(1984年～1年間、アメリカ・ノートルダム大学客員研究員)

(1993年～5年間、フランス IMRA Europe 招聘研究員)

1999年 経団連 21世紀政策研究所研究主幹。

2003年 同志社大学大学院ビジネス研究科/総合政策学研究科 教授

(2008年～1年間 英国ケンブリッジ大学クレアホール客員フェロー)

2014年 現職。

5社のベンチャー企業を創業。

著書に『Innovation Crisis: Successes, Pitfalls, and Solutions in Japan』(Pan Stanford Publishing 2019年)、『イノベーションはなぜ途絶えたか—科学立国日本の危機』(ちくま新書 2016年)、『物理学者の墓を訪ねる—ひらめきの秘密を求めて』(日経 BP 2017年)、『イノベーション政策の科学—SBIR の評価と未来産業の創造』(共著、東大出版会 2015年)、『死ぬまでに学びたい5つの物理学』(筑摩選書、2014年)、『イノベーション 破壊と共鳴』(NTT 出版、2006年)など。